

議 会

視 察 来 町

上川町議会来町

8月4日、上川町議会(議会運営委員会)が「議会活性化の取り組みについて」を調査事項として来町されました。

佐々木議長の歓迎挨拶後、定数11名から8名、2常任委員会から1常任委員会への経過や、各種団体との懇談会の開催など活性化の取り組みを説明しました。両議会とも、町民に開かれた議会運営を行うための情報共有や審議の過程や結果をわかりやすく説明するなどの、議会運営について活発な意見交換を行い離町されました。

新篠津村議会来町

8月6日、新篠津村議会が「農業体験受け入れ制度について」「少数議員による議会運営について」を調査事項として

来町されました。佐々木議長の歓迎挨拶後、担い手対策の取り組みを山田産業課長より説明し、農業後継者花嫁対策や新規就農者受け入れ体制について活発な意見交換を行いました。



また、新篠津村議会が、23年4月に任期満了を迎えるにあたり、現在の議員定数(10名)について検討中であるとのことであり、本町議会の経過を説明(上川町議会と同内容)し、活発な意見交換を行い離町されました。

議 員 コ ラ ム

9月号の広報が皆様が届く頃には、すでに衆議院選挙の結果も出て、新しい内閣の枠組みもできていることと思う。8月の選挙は初めてということで、暑く(熱く)長い選挙運動が続けられている。選挙には、各党が「マニフェスト」なる選挙公約を発表し、他党との違いなどを訴えている。

さてこの「マニフェスト」だが、これから先、こういうことをしていきたいということである。公約(公の約束)であるだけに、そのチェックはしっかりしなくてはならない。しかし、それまでに何をしてきたのかということとがほとんど触れられていない。マスコミもその点のチェックが弱いのではないか。国民が国会議員や政党をしっかりと審判し、今後の政治の方向を決める極めて重要な選挙である。絵に書いたモチでは困る。

▼今年是天候の不順で作物全般に生育がイマイチである。

7月は雨が降らなかつた日がほんの数日で稲のイモチ病の発生もみられる。天候の回復が遅ければ不作の可能性もある。また価格もあまり期待できないようである。稲作農業が基幹産業の本町においてはその出来・不出来が地域経済を大きく左右する。安定した価格と、しっかりと所得の確保政策が必要だ。

(板垣)

